



京都部会(第 14 回)

日 時: 2012 年 5 月 25 日(金) 19:00~21:00

場 所: 同志社大学 光塩館

【内容要旨】

- (1) 今回の参加者は 8 名であった。まず初めに、経済教育ネットワークの篠原総一代表者から、宇都宮と札幌で開催された WS と 8 月に開催予定の「先生のための夏休み経済教室」の報告があった。
- (2) 続いて、経済教育ネットワークのメンバーである宮尾尊弘氏の書かれた書評『パパ銀行のマネー哲学』と篠原総一氏が書かれた『中学校の教員が知っておきたいマクロ経済学』についての紹介があった。
- (3) 最後に、上畑直久氏(京都御池中学校)による社会科学習指導案「消費生活と経済のしくみ」についての報告があった。生徒たちに、日常起りそうないくつかの事例を挙げながら、売買契約が成立しているか、売買契約をキャンセルができるか、等々について問い掛けることで、社会的な見方や考え方を身に付けながら判断力や行動力を育てることを目的とした学習の紹介であった。また、弁護士にコメンテーターとして授業への参加を要請し、法律の観点から説明をしてもらう機会も設けられていた。

その後、参加者の間で意見交換をした中で、「法と経済」の科目で重要な視点は、市場経済を維持するためのルール作りの大切さであった。さらに、消費者はいつも弱者であるという立場が強調されすぎている感があり、むしろ経済学的には情報の非対称性の考え方から対処すべきだという意見があった。

(文責:西村理)

次回開催予定: 2012 年 7 月 27 日(金) 19:00~21:00